



広報

平成4年5月1日発行・毎月1日 編集・発行 / 秋田県東由利町役場企画課

ひがしゆり

1992 5

No 446



★主な内容	*
■新しい農業委員決定	2~3
■年度初めの町長訓示	3
■自治会長会議ほか	4
■本町に二本目の国道決定	5
■特集・若者は今	6~7
■新しい仲間ほか	8
■児童福祉週間	9
■トピックス	10~11
■みんなの広場	12~13
■郷土の野草ほか	14

この「黄桜」を売り物に、例年、花見どきにあわせて「黄桜まつり」が開催され、出店とともに楽しいイベントが繰り広げられます。ちなみに、昨年の観桜会期間中（5/3～5/12）に「いこいの森」を訪れた人は、およそ二万八千人。

今年の「まつり」は、五月九日・十日の二日間。——勢至公園に始まった「秋田の花見」の終りは「八塩いこいの森」で——ご家族などでお出かけの花”と“ダンゴ”を楽しんでみてはいかがでしょうか。「幸福の橋」「野鳥の家」もあります。是非、どうぞ!!

（関連記事八面、写真は昨年5月撮影）

薰風に満開の“サクラ”
ここには、八重桜・吉野桜合わせて約二千本が植えられており、花の見ごろは五月上旬。中には、黄色い花をつける「御衣黄」（ぎよいこう）が点在し、珍しい“黄桜”として町の名物になっています。

風薰る五月に、満開のサクラが楽しめる“東由利自慢の名所”、そう、「八塩いこいの森」です。

新しい農家の代表決まる

—選挙による農業委員10人の紹介—



工藤秀悦
49歳・野田・新



高橋慶助
52歳・館合新田・新



鈴木博
51歳・大琴・新



太田行雄
62歳・藏新田・現



菊地義一
55歳・山崎・新



畠山孝一郎
58歳・石高・現



小野邦一
48歳・宿・現



鈴木和夫
40歳・沼・現



小野作美
53歳・下通・現



横山昌夫
59歳・智者鶴・現

無投票で決まる

四月三十日で任期満了となる町農業委員選挙は四月二十日に告示され、同日午後五時で立候補の届出が締め切られました。

その結果、届出をした立候補者は定数を超えず新人四人を含む十人が無投票当選に決りました。（写真は立候補届出順）

新委員の任期は、五月一日から平成七年四月三十日までの三年間です。

議会・団体推せんは六氏
町議会、農業協同組合、共済組合からの推せんによる委員には次の六氏が選任されました。（敬称略）
(議会推せん)

柴田 浩 62歳 新 須郷田

佐藤 謙 53歳 新 寺

高沢 忠 50歳 新 蒲

石渡 豊和 42歳 新 沢

岩松 柴 51歳 再 下

佐藤巳紀男 44歳 新 松

（共済組合推せん）

農業委員会は、農業生産力の発展及び農業経営の合理化、農業者の地位向上を目的として昭和二十六年に国の法律により各市町村に設置が義務付けられています。

また、農業委員会は独立した行政機関で、農業、農業者の利益を代表するという性格をもっています。特に本町農業委員会の大きな特徴は、委員会内部の組織として「農業振興部会」というのがあります。同部会では、農業後継者対策や嫁、婿対策、新しくパソコンを導入した「新農地銀行活動事業」の推進など、農業振興全般にわたり、協議しています。

委員は、農業者自らによつて公職選挙法に準じた選挙で選ばれることにな

っています。

本町では、選挙で選ばれる委員が十人、議会から推せんされる委員が五人以内、農業協同組合・共済組合から推せんされる委員が各一人で構成されています。

将来性豊かな農業を目指す

農家のみなさんが、農地を売つたり交換したりする場合は、必ず農業委員会にはかつて許可を得なければなりません。

たとえば、自分の農地を息子に譲る

場合でも農業委員会に申請して許可をとらなければならぬことに法律で定められているのです。平成三年に農業委員会に申請のあつた農地の権利移動

は、六十九件、三十四件でした。また、農地を宅地などの農地以外に利用する場合も同じような許可が必要で、平成三年は九件七十八アールを取扱い、すべて許可されています。

農業委員会では、農地の移動、転用の事務を含め農業委員を通して主に次のような仕事をしています。

☆ ☆ ☆

① 農地等の利用関係についてのあつ旋をしたり、争いを防ぐこと。

② 農地の交換分合のあつ旋や農地事情の改善に関すること。

③ 農業及び農村に関する振興計画の樹立と実施に関すること。

④ 農業技術の改良、畑作物の病害虫の防除、その他農業生産の増進や農業経営の合理化、農家生活の改善などに関すること。

⑤ 農業に関するものの調査、研究を行うこと。

平成四年度の年度当初に当たる四月一日、阿部町長は職員人事の異動辞令を交付したあと、全職員に対し次のような訓示を行いました。職員のいつそうの精進と努力を促しました。

三月定例町議会で平成四年度予算を成立させていただきました。

執行にあたってはいかに効率よく行

つて、明るく元気の出る町づくりをす

るか、その働きは職員個々の双肩にか

かつて います。

町のおかれの現状を認識し将来像をどう形成して行くかが課題です。

私から四つの視点についてお話しします。

① 本荘高校下郷分校から十九名の若人

が卒立ちました。しかし町でがんばろ

うという方は二名、十七名の方たちは県外に職場を求めるという現状です。

このことが町の人口に占める六十五

歳以上の方たちの割合が二十一・五%、

全国の高齢化比率の二十年先を歩んで

いるということになります。長寿を共

に寿ぎ、町の将来を担う若者が住みや

すい町にするために、産業振興、商工

業振興を進め魅力ある町にしていく事が大切です。また、町出身者の方たちや子や孫たちのものである最大の資産、山紫水明の里をどう後世に継承していくかという事を考えながら、誇りのもうる町にしていかなければなりません。

② 行政は継続しています。継続する積み重ねが町を発展させて行くものと思

ますが、これらについては毎月行われる「農業委員会総会」で審議されます。

このように、農業委員会やその構成員である農業委員は農家のみなさん

真の代表といえます。将来性の豊かな農業を目指すためにも、農家のみなさんの理解と協力をお願いします。

⑥ 農業や農業者に関するこの啓もう、宣伝を行うこと。

⑦ 農業者年金事業に関する事。

以上が農業委員会が行う主な仕事で

年度始めに町長が訓示

町民と価値観を共に



故 阿部重三郎氏

町功労者 阿部重三郎氏逝去

町功労者で元下郷村助役の阿部重三郎氏（蔵出身・秋田市住）が、病

氣療養中のところ四月十日に永眠されました。享年八十二歳。

氏は昭和二年下郷村に奉職し、同

二十九年には助役に選任され、町村合併に際しては、多難な自治行政の処理にあたられました。新村発足後

は、昭和四十二年九月に退職するま

での間、下郷支所長、総務課長等を歴任し、本町発展の基礎づくりに寄与されました。

謹んでご冥福をお祈りいたします。

生の意見を町政に

平成4年度自治会長会議

なまの意見を町政に反映し、より良い町づくりを－と毎年度初めに開いている自治会長会議は今年、四月二十四日、有鄰館で開かれました。

この日、会議に先立ち、阿部町長が、自治会長として長年にわたり集落自治の振興と町行政の円滑な推進に尽くしてこられた三氏と、納税意識の高揚に特に顕著な成績をあげている一個人・七団体、さらに、地域活性化にむけて顕著な成績をあげた二団体を表彰。引き続き、平成四年度の主な施策について概要を説明し、町民はもちろん町出身者も誇りと希望のもてる「明るく元気の出る町」を築くため一層の理解と協力をお願いしました。

このあと、町からの協力依頼事項などについて各担当課長が説明。続いて意見交換に移り、出席者からは次のような質問、意見が出されました。

問 高瀬川がそんなに汚いわけではな

いが、住民の生活環境の整備の点から水質検査を実施すべきでないか。

答 公営事業課で下水道の整備計画に着手しており、その中で河川の水質検査を実施する事になっておりその段階で検討したい。

問 消防団の定数確保が困難な状況であるならば定数の見直しや組織替え、公務員や団体職員の採用を検討したらどうか。

答 消防団員数は、現在百七十二人で、百八十五人の定数に対して十三人の欠員となっている。質問の内容については、今後消防幹部会で検討していきたい。

問 湯出野遺跡に通じる道路を舗装してほしい。

答 町道湯出野遺跡線として認定されているので早期に計画検討したい。

問 岩館地区の急な坂道を早期に改良してほしい。

答 早い機会にカーブの拡幅、路肩の



意見を述べる自治会長さん

整備などを含めた県単独事業による整備の実現を強く要望していく。

問 地下の沢の県道改良による官地部分の利用方法と旧道の除雪対策をしつかりしてほしい。

答 官地部分は、花壇にするなど地区の方たちで検討してほしい。また、除雪に関してはできるだけ対処したい。

問 子供会、少年会の支援対策について具体的に説明してほしい。

答 金銭的な援助よりも人的な援助で対応したい。

このほか葉書で事前に取り寄せていた各自治会からの要望事項は、それぞれ文書で回答しています。

表彰（敬称略）

（多年自治会長表彰）

・前宮ノ前自治会長 大日向小十郎
・中ノ沢自治会長 工藤 正悦
・大琴自治会長 梅津嘉一郎

（七年連続納期内完納特別表彰）

・蔵納税貯蓄組合
・五海保納税貯蓄組合

（六年連続納期内完納特別表彰）

・新町納税貯蓄組合
（優良納税組合表彰）

・田代納税貯蓄組合
・宿同
（個人表彰）

・高戸屋納税貯蓄組合長 小松敏雄
（地域手づくり事業優良表彰）

・東由利をおもしろくする会
・弁天島ほたるの会

臨時議会 町税条例の一部改正案など可決

臨時議会が四月二十七日に招集され、町税条例の一部改正案など五議案を原案どおり可決しました。

主なものは次のとおりです。

町税条例の一部を改正

「個人町民税」の非課税限度額を引き上げました。また、前納報奨金について見直しを行っています。

国民健康保険税条例の一部を改正

最高限度額をこれまでの「四十四万円」から「四十六万円」に引き上げました。

四年度一般会計予算を補正

法内克雪センターの和室模様替工事費等二百九十八万円を追加、歳入歳出予算の総額は三十二億四千五百六十八万円となりました。

福祉バスの購入を承認

現在ある福祉バスの老朽化に伴い、五十五人乗りの福祉バスを購入します。任期満了に伴う農業委員の議会推せん者四人を推せんしました。

農業委員四人を推せん

本町に二本目の国道決定

町活性化の原動力に

主要地方道・山崎鴻屋十文字線の内、

本町山崎地区から羽後町新町地区間 15.5 キロメートルが国道に昇格しました。

国道に昇格した路線は、本町山崎から羽後町を通り湯沢市を結ぶ 28 キロメートルの路線です。

我が町 2 本目の国道として、今後の町の活性化のために大きな期待がもたれます。

主要地方道・山崎鴻屋十文字線の一部 15.5 キロ（本町分 4.8 キロ）を含む東由利町（湯沢市間の国道昇格は、3 月 25 日に開かれた国の道路審議会の答申によるもので、平成 5 年 4 月 1 日から国道 3

98 号線としてスタートすることになります。
こうした県道などの国道昇格は、十一年ぶりのことと、今回は、全国で百二路線、延長六千六十一キロ、本県では、同路線を含む四路線、延長一四七キロが国道に昇格します。国道になると、予算の集中配分で道路改良のスピードアップが図られるほか、県道に比べ道路規格のランクアップにより、高規格の道路ができ、生活環境のアップにつながる等多くのメリットがあります。

今回の国道昇格による新国道は、本町など県南内陸部の二市八町による内陸縦貫道整備期成同盟会（昭和 54 年発足）の要望路線の一部です。この要望路線は、県都秋田市から秋田空港・大内町・東由利町・羽後町の各拠点を通過し、県南湯沢市を結ぶ道路です。内陸部の観光・産業の開発を進めていくためには、必要不可欠なものであり、今回の国道昇格により内陸縦貫道全線の国道昇格の弾みになり、町活性化のためにも大きな期待が持たれます。

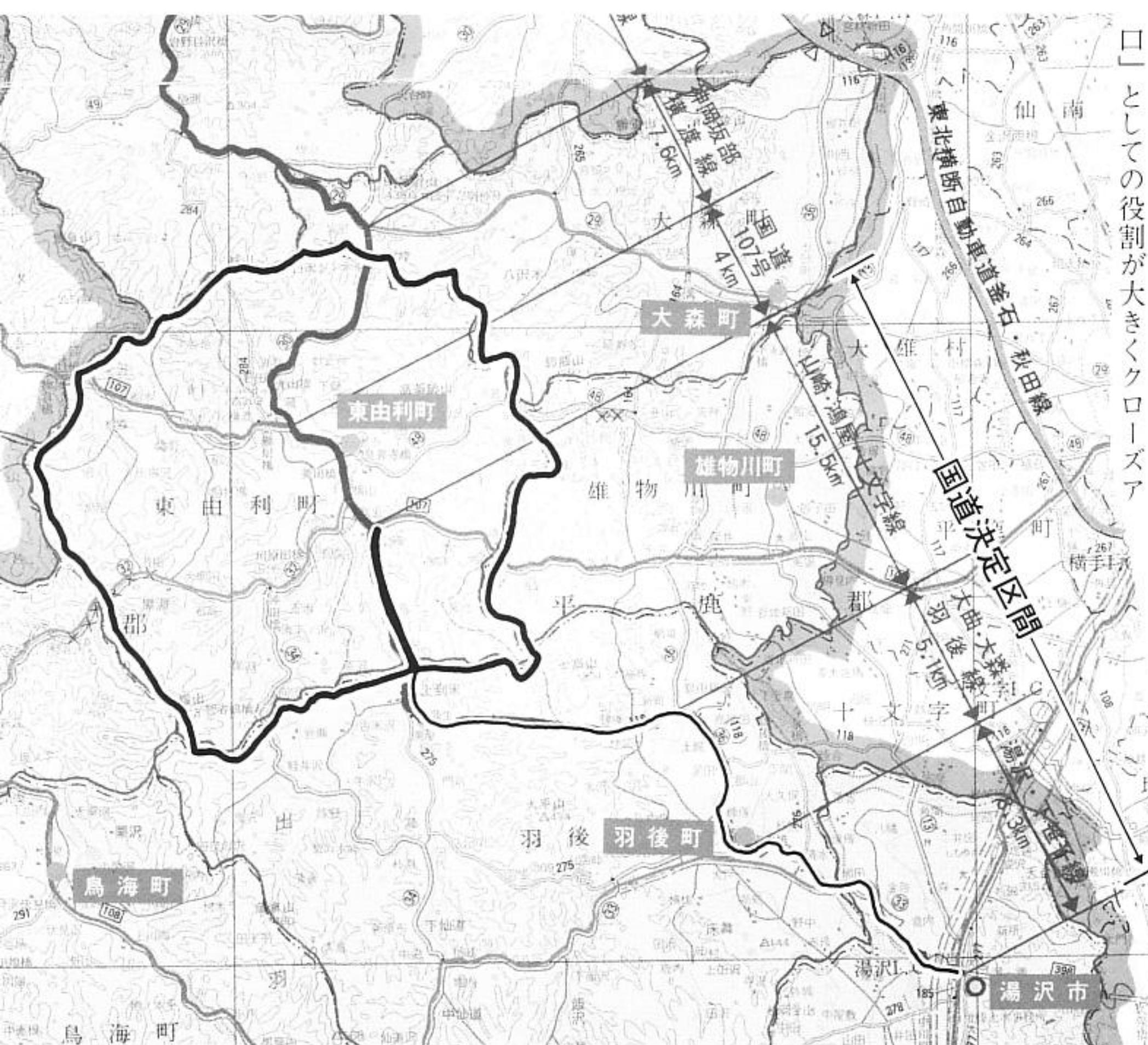


本荘・由利 東の玄関口に

国道 398 号線は、現在宮城県石巻市を起点として、湯沢市を終点とする道路ですが、この終点を本荘市に延伸することに伴う国道昇格もあります。

いわゆる、太平洋側と日本海側を結ぶ横断道として利用される事になり、本町としては「本荘・由利の東の玄関口」としての役割が大きくクローズアップされます。

ツブにもつながる訳ですが、ただの通り道にならないように、新たな施策の展開が必要な時期ともいえます。なお、湯沢羽後東由利間国道昇格祝賀会を四月三十日（木）に、約二百五十人の招待客を招いて、羽後町活性化センターにおいて行いました。



特集 若者は今



多くの若者が楽しく住めるように…と、平成3年4月、ふるさと創生事業の1つとして「若者定住促進条例」を制定してから1年。

現在、町で働いている若者がどんな意見をもっているのか、取材してみました。

大きな事をしてほしい



小松 優さん

この町に住んでいて一番思うことは、とにかく中途半端でなく大きなことをして欲しい。他の町でやっている事をやつてもおもしろくないと思います。例えば、八塩周辺の整備にしても、

この間、町のバレーボールやバスケットボール大会に参加してみて、とても楽しかった。このような若者を引きつける企画や、若い人達から生まれた企画はもっと続けて欲しい。そして、若者達でさわいだり、くつろいだりする場所があればいいと思います。そうすれば若い人達ももっと多くなるのではないでしょうか。

若者を引きつける企画を



柿崎梢さん

おれはこう思う
私はこう思う

結構整備されてきれいになつてゐるが、矢島にぬける道路を早く整備しないと一層の誘客は望めないと想ひます。それから、働く場所と遊ぶ場所が不足している事も若者が残らない原因ではないでしょか。

住みやすい場所だと思います



村上文雄さん

私は、長男だし小さい頃から家にいるように言つてきて、それが原因か

私は、羽後町から通つてゐるが、人柄は良いし、人づきあいは良いし、良いところだと思います。通勤のたびに思うのは、道路が良く整備されていて気持ちがいいということです。町で力を入れて整備しているのがよく分かります。体育館はあるし、テニスコート、野球場等のスポーツ施設も整備されています。住みやすい町だと思いますよ。

◎一人暮しのできる住宅があつたら良いと思う。

○この意見は素直に受け止め、若者の住みやすい町にするため、町全体で考えて行かなればならない課題です。町では、やる気のある若者はいつも応援します。こんな町が好きだから、こんなことをして町を良くしたいという気持ちを大切にしたいものです。それでは、平成四年度町では、どんな企画をしているのか紹介します。



他の町に自慢できるものが欲しい



佐藤敏也さん

分かりませんが、あまり都会に行きたく思つた事はありません。町への要望は、目標を高くもつて事業を進めてほしい。他の市町村に對して、自慢のできるものがあれば良いと想ひます。

それから、できるか分かりませんが、銀行があつたほうが便利だと思います。

☆ ☆ ☆

代表的なものを紹介致しましたが、このほか次のような意見が出ています。

○何をやるにしても、「話合いがあつて次に酒飲み」というパターンはもう古いと思う。新しい発想で事業を計画して欲しい。

町では、こんなことを企画しています。

公営住宅の建設

木造の住宅を6戸建設します。この住宅は国の補助事業のため入居者は、「同居しようとする家族のある人」、「一定基準以下の所得の人」が要件となっています。

今後、賃貸住宅を建設するうえで誰でも入居できる住宅の建設が課題であり、特に若者から要望が強い一人でも入居できる住宅も検討課題の一つとなっています。

資金貸付け、祝い金等の支給

昨年度から実施している「若者定住促進基金」を利用した資金貸付けや支給を行います。昨年度は、物資購入等の資金貸付け12件、就職祝い金等の支給24件となっています。(別表参照)

若者定住促進条例による貸付(支給)金の概要

No	項目	貸付額及び貸付条件等 (支給)	貸付(支給)対象	平成3年 度実績
1	若者定住環境 整備資金 (貸付)	貸付額 100万円 貸付利率 3% 貸付期間 10年 (ただし、2年間は据え置き)	15歳以上35歳以下で町内に永住する意志のある若者(以下「若者」という)。公務員、在学者は除く	2
2	若者物資購入 資金 (貸付)	貸付額50~80万円 無利子 貸付期間 5年 (ただし、1年間は据え置き)	同上	7
3	新婚旅行資金 (貸付)	貸付額30~50万円 無利子 貸付期間 5年 (ただし、1年間は据え置き)	申請者または申請者の配偶者となる人が「若者」の人。いずれも初婚であること。公務員在学者は除く。	3
4	就職祝い金 (支給)	支給額 3万円 (ただし、Uターン者で配偶者のいる人は6万円)	新卒者または転入者で町内または町内より通勤できる事業所に就職し、就職後6ヶ月を経過した「若者」。	12
5	縁組世話人 報奨金 (支給)	支給額 5万円	結婚相談、仲介など、事実上婚姻成立のため世話活動に携わった人	12

野球場・内野スタンドを整備

現在の芝生の内野スタンドに整備し、両サイド約百人ずつ座れます。若者の夏の祭典である社会人野球大会の試合もきれいなところに座って観戦することができます。

また、各種の郡大会、県大会に利用されるケースも今後多くなる事が予想されます。

人づくりのための事業

「町づくりはまず人づくり」とよく言われ、魅力ある人を育成する事により町のイメージアップにもつながり、

言われ、魅力ある人を育成する事により町のイメージアップにもつながり、

「町づくりはまず人づくり」とよく言われ、魅力ある人を育成する事により町のイメージアップにもつながり、

「町づくりはまず人づくり」とよく

持った人材の育成、リーダーの養成と歩とも言えます。

町では、国内外を問わず広い視野を

いう事で視察研修を計画しています。

昨年から実施している「海外研修」には、八泊十日の予定で十人を海外に派遣します。今後の国際化社会に対応できる人材育成のための事業と言えます。

また、「国内研修」には今年で三年目をむかえ、これまでに宮城県、北海道に行っています。

☆

☆

☆

以上代表的なものを紹介しましたが、この他に農業後継者のための事業、各種スポーツ大会などの事業も行います。

町で行う事業は、より良い町にするためである事はもちろんですが、結果的には自分の生活に直接関係する事ばかりですので、事業を有効に利用して、町の活性化につなげるためにも、皆さんの意見・要望をお寄せ下さい。

畠山本部部長が日本消防協会長表彰を受賞

町消防団本部部長の畠山昭雄さん(写真・蔵)が日本消防協会長表彰を受けました。

写真・蔵)が日本消防協会長表彰を受けました。



畠山本部部長が日本消防協会長表彰を受賞

神奈川県の石井建設株式会社に出稼ぎに行かれた、佐藤良一さん(写真右・泡ノ瀬)、佐藤永作さん(写真左・智者鶴)が神奈川県建設労働者受入協議会長表彰を受賞しました。

この表彰は、建設労働者の模範となる方に送られるもので、佐藤さんの努力の成果が評価されたものです。本町出身者では、既に五人が受賞しており、高い評価を得ております。今後のこと

新しい仲間です！ヨウシク

この度、農業を一生の仕事として選び、住み慣れた都会を離れ、東由利町に住むことになった三人の方々をご紹介します。

この方々は、原田晴生さん（五十二歳）＝東京都出身、館西在住、三輪善四郎さん（四十七歳）＝愛知県出身、大琴在住、永島誠さん（三十八歳）＝神奈川県出身、下通在住。

いずれの方も、県が農業後継者確保のため農家の方だけではなく、他の職業の方にも積極的に農業に取り組んでもらおうと、平成三年度から実施している「新規就農促進対策事業」によるもので、県外からの希望者三人全員が東由利町に住むことになりました。

三人とも農業は初めてですが、自分が



▶阿部町長と原田晴生さんご夫妻

◀(写真左) 永島誠さん(写真右)
阿部町長と三輪善四郎さんご夫妻

農業技術センターができました

— お気軽にご利用下さい —

従来の農業総合指導センターを、「農業農村活性化会議」と「農業技術センター」に分けて、本年度から実施することになりました。

特に、農業技術センターには畑作部門の充実強化のため、「畑作振興指導員」を設置し、畑作・畑作・畜産の三枚看板で実施していくことになります。これからは、現地指導が一番の課題であり、農家の方々からの要望も大きいことから、畑作・畜産の両指導員には、専用の自動車を配置し頑張っていただきます。

また、事務所については、役場前の畜産センターを改造し、利用します。



農家の方々の要望を取り入れたいと考えておりますので、お気軽にご利用下さい。

また、三日から十日までの観桜会期間中は八塩山麓会の出店が予定されているほか、昨年度から行っている「とうろう」が三十五本、駐車場から会場まで設置される予定であり、夜の黄桜まつりを一層盛り上げてくれることでしょう。

社長になり、やりたい方法で仕事ができるという農業ならではの魅力、そして都会では決して味わうことのできない広大な自然とのふれあい、おいしい空気・水を求め、この事業の参加を決意したそうです。

今後2年間の研修期間を経て、それぞれ希望の作目に取り組むことになります。農業後継者不足、米価問題等明るい話題の少なかった農業ですが、新たに農業をやろうという三人の仲間を迎えて、共に喜び、助け合って行きたいものです。

町の一大イベントである黄桜まつりの観桜会期間は三日から十日まで、イベント日は九日、十日にそれぞれ決定しました。

今年のメインイベントは、九日の夜に行われる「湖上花火」。春の夜空に幻想的にひかる花火が今から楽しみです。

このほかに、好評のミス黄桜発表会、健康ウォークマラソン、青年駅伝競争大会、鯉釣り大会、八塩芸能クラブによる黄桜演芸会も行われるほか、商工会、はたちのつどいなどの出店も予定されています。

黄桜まつりのメインは

湖上花火

■ 湖上花火 ■

そつと咲く黄桜が
季節をつげる
黄桜一色になる

8日間

気づいていますか

子どもを取り巻く環境の変化

さわやかな5月晴れの空にこいのぼり……。心身ともに健やかに、明るい子供に成長するように……。そんな親たちの願いが込められて、5月5日は「こどもの日」。

そしてこの日から1週間、児童福祉週間が始まります。この機会に、子供を取り巻く環境について考えてみましょう。

出生率の低下

子供を取り巻く環境について話をす
る前に、皆さんに見ていただきたいデ
ータがあります。

一人の女性が一生の間に産む子供の
数、これを、合計特殊出生率(出生率)
といいますが、ここ数年、この出生率
が著しく低下しています。

昭和二十二年には、四・四五人でし
たが、昭和六十三年には一・六六人、
平成元年には一・五七人と昭和四十年
代の約六割まで落ち込んでいます。ち
なみに、この出生率が二・一人を割る
と人口の減少が始まるといわれていま
す。

このデータにみられるように子供の
数は減る傾向にあり、平成二年度の本
町の新生児は三十三人とこれまでの最

社会の仕組みにもさまざまな影響が

低となりました。

子供が少なくなるということは、社
会の仕組みにも影響がでてくるといわ
れています。急速な人口の高齢化によ
つて、お年寄りの面倒を見る負担が増
えるのはもちろんのこと、将来、若年

共働き家庭の増加

夫婦で協力して子どものふれあいを

子供たちを取り巻く環境は、いま、
大きく変わろうとしています。そんな
なか、子供たちが豊かな心をはぐくみ
ながら成長していくうえで、家庭の役
割がますます大きくなっています。一
方、女性が社会に進出するようになり共
働きの家庭が増え、親子のふれあう機

会が少なくなっています。そこで、夫
婦で話し合い、互いに協力し合うこと
が大切になってくるのです。子供との
コミュニケーションをどうしていく
かが、今後の課題といえるのではないか
でしょう。

お子さんとの会話をたいせつにして
いますか。休日など、子供と一緒に遊
ぶようにしているでしょうか。「時間
がない」となどと言ってはいませんか。
ほんのちょっとの時間、例えば家の事の
合間、寝る前のひとときには会話を交わ
したり、一緒になつて遊んであげたり
して、子供とスキンシップを図ること
が大事なのです。

いま、国を挙げて「健やかに子供を
生み育てる環境づくり」が推進されて
います。この問題を、一人一人が身近
なところから考えていくことが重要と
いえます。

そればかりか、子供自身が友達の中
でもまれたり、我慢することなどを学
ぶ機会が少くなり、社会性が育ちにく
くなるなどのさまざまな影響が考え
られます。

子供の人間形成において、友達と遊
んだり、地域の活動に積極的に参加し
たりするための環境づくりも、子供を
もつ親として大切なことです。これは、
子供の自立心や社会との協調性をはぐ
くむうえで、おそろかにしてはならない
こと。

子供の遊びの重要性を再認識すると
ともに、親自身、地域の活動に積極的

自立心や社会性をはぐくむ環境づくりを

友達との遊びが減る

に参加する、また、隣近所との付き合
いを深めていくことで、社会性を身を
もつて子供に教えていくことが大切な
のではないか。

お子さんとの会話をたいせつにして
いますか。休日など、子供と一緒に遊
ぶようにしているでしょうか。「時間
がない」となどと言つてはいませんか。
ほんのちょっとの時間、例えば家の事の
合間、寝る前のひとときには会話を交わ
したり、一緒になつて遊んであげたり
して、子供とスキンシップを図ること
が大事なのです。

人はゴミを出さずに生き
ていけません。でもゴミ
を減らすことはできます。
協力お願いします。

ひがしゆり・9

トピック

あんなこと～まちのわだい～こんなこと



いい汗流そう！ママさんバレーボール教室

町公民館主催で「いい汗かこう！」を合言葉に4月3日からバレーボール教室を実施しています。町内在住の25歳以上の既婚の女性を対象に、午後6時30分～8時30分まで、健康増進センターでバレーボールの基本動作や反復練習を中心に汗を流しています。とにかく技術の差に関係なく、体を動かしていい汗をかくことを目的としており、体育館の中は、笑い声でいっぱい。普段体を動かす機会が少ないママさんにとって、「ダイエットやストレス解消と目的は違つても終わつた後の爽やかさは一緒」という事で仲良くやっています。

最初は4回の計画で行つていましたが、参加者のあまりのハッスルぶりともつとやりたいという強い要望に、予定を変更して毎週水曜日、午後7時から9時まで練習することに決定しました。

現在、一緒に練習する仲間を募集しています。直接水曜日に健康増進センターへ行くか、公民館（☎ 691-2310）へ連絡して下さい。

今後はバレーボールに限定せずに、「いい汗かいて、いい笑顔」をモットーに、様々なスポーツにチャレンジし、体を動かす素晴らしさを実感していました。

町連青会長に小野君

四月十日、朋楽荘において町連合青年会の総会が行われ、最初に会長の古関和枝さんが、「歴代初の女性会長という事で、物足りない部分もあつたと思いますが、少しでも、青年会のイメージアップにつながればと思って、自分なりに精一杯頑張つたつもりです。」とあります。平成四年度の事業計画・予算等を原案どおり可決し、新役員を選出し閉会しました。

最近、青年会のあり方とか、今の若者の役割とか議論されておりますが、このようにやる気のある若者が増えて行くことは喜ばしいことであり、町全体で盛り上げて行きたいものです。

☆新役員紹介
会長 小野 進さん（上里）
副会長 小松哲也さん（畠村）
監事 小野博子さん（下吹）
畠山 伸さん（寺田）
菊地正子さん（館西）



ビカビカの1年生

平成四年度の町内三小学校の入学式が、四月四日に、一斉に行われ、五十六人の新一年生が誕生しました。

八塩小学校では、今年度二十一人の新入生が、今までの保育園とは違うため戸惑いながらも、父兄の方々と入学式に出席。入学の記念に梅の苗木を、また交通事故防止のため黄色の帽子を手渡され、最初は緊張ぎみの新入生も、にこやかな笑顔で先生の話を聞いていました。

この後教室では、先生から学校のしくみの話を聞き、いつもはやんちゃな子供達も、おしとやかな一日を過ごしていました。

御入学おめでとう。頑張って下さい。



実践さながらの 模擬消火活動展開

大火防止訓練実施

春恒例の大火防止訓練が4月26日、黒渕地区を会場に町消防団員ら300人余りとポンプ車など25台が出動して行われました。

この訓練は天気の悪い日に住宅密集地で大火が発生した事を想定し、消防団員の技術の向上や、地区住民の防火に対する考え方をしつかりともつてもらいます。

「午後2時八塩館付近で火災発生」



簿記講座が終了

町農業委員会が主催して行っていた簿記学習講座が3月27日に、9回目の講座を行い終了しました。この講座は、経営者が簿記記帳の習慣を身につける事により、より良い経営にもつて行けようとするため、実施したものです。

当日は、最後の講座とあって講座の反省が発表され、「今後も続けてほしい」、「仲間がもつと増えればくじけずにやつていけるかも……」等の意見が発表されました。その後閉講式が行われ、講座に6割以上出席した人に修了証書が授与されました。農業委員会では、今後もこのような講座を実施する予定ですので、みなさんは是非参加して下さい。

寺田に待望の公園

寺田の天神様周辺に、ゲートボールコート1面・ブランコ・すべり台・あずま屋等のある、地区住民待望の公園が完成しました。ここは、花見の場所として親しまれ、利用されて来ました

が、ゲートボール場や子供達の利用できる公園がなかったことから、以前から公園整備の要望がされてきたところです。

およそ一時間にわたる訓練が終了した後は、全員で地区内をパレードし、地区住民に火災予防を呼び掛けました。

この後、重機格納庫前で閉会式を行いました。

これからは、火災の発生しやすい時期となります。大切な生命や財産を守るために、火災には細心の注意を図りましょう。

標準賃金一万五千円に 建設技能組合総会

東由利町建設技能組合（阿部悟組合長）の第三十二回総会が、三月二十四日玉米会館で組合員など五十二人が出席して開かれました。

総会では阿部組合長が「本組合は、建設技能労働条件の維持改善、社会的経済的地位の向上並びに技術の向上を図り後継者の育成に努めなければならぬ」となどとあいさつ。議事では、平成4年度の活動方針や予算などを決めたほか、役員改選を行い全員再選されました。今年度は「標準賃金」をこれまでの一萬一千円から一万五千円に引き上げることを決めました。



町では、農村総合整備モデル事業により、約1千500万円をかけて公園整備を実施しました。今後は、町内各地に農村公園を整備し、町民いこいの場所の確保に努める考えです。

フレッシュリレー

木島 千世子さん(20歳)

大琴・農協勤務



農協に勤めて三年目。本所で貯金の仕事を担当している彼女にインタビューしてみました。

☆趣味は?

最近は特にインテリア雑誌や家具、観葉植物を見て回るのが好きです。

☆今一番たのしい事、やってみたい事は?

やつて見たいことはたくさんあります。今一番やりたいことは、自分でカーテンをつてみ

新婚さん こんにちば

茂沢 畠山 明 さん (26)
咲華子さん (24)



咲華子さんが、八日町の給油所に勤務していたとき仕事柄明さんが、毎日のように通つたのがきっかけとか。三年半の交際の末、めでたくゴールイン。二人に「スキ」という共通の趣味があつたことも大きなきっかけになつてゐるようです。

「家が農家だったので、農家の嫁さんになることは全然抵抗がなかつた」と咲華子さん。

「子供は三人。いつまでも新鮮で、あたりまえの事が普通にできる夫婦でいたい。」と二人で笑いながら答えてくれました。

お幸せに!

☆この町に望むことは?

東由利の豊かな自然は気にいつてますが、ただの田舎ではつまらないですね。豊かな自然を保ちつつ都会的センスのあふれる町並になつてもらいたいです。

☆自己PRをどうぞ

第一印象はおとなしく見られがちですが、決して暗くはありません。(キッパリ)

心配性です。でもたいして大変な事にはならないもんですね。

好きな芸能人は鈴木保奈美、美木良介。好きな動物はねこ。

今年から農協に勤めているかわいい女の子、佐藤恵美さんにリレーします。

東由利の文さみ

せせらぎ句会(四月句会)

(家ノ下 遠藤卓哉さん
志津子さんご夫婦の長男)
たつき樹ちゃん



わたしの 赤ちゃん

「大地に根をおろしてすぐすく育つようにとお父さんが名前をつけてくれました。初孫なのでみんなからかわいがられ、特におじいちゃんとおばあちゃんは、毎日取り合ひです。月並みですがワシパクでもいい、たくましく育つてほしいです。」とお母さんの志津子さんが、教えてくれました。

- ◆ 東由利の豊かな自然は気にいつてますが、ただの田舎ではつまらないですね。豊かな自然を保ちつつ都会的センスのあふれる町並になつてもらいたいです。
- ◆ 視野遠く羽後の山脈雁帰る
- ◆ 病窓の心もとなく雁の行く
- ◆ 行く雁や表札の名前二人消え
- ◆ 雁帰るマネキン軽い夜を裝ふ
- ◆ 白壁の多き水郷雁帰る
- ◆ 雲に入る一陣二陣雁北え
- ◆ 就職子見送る朝や雁帰る
- ◆ 暮せまる遠嶺を渡る雁の棹
- ◆ 生ウドを味噌と喰じりし独り酒
- ◆ 独活の香をネオンの町え荷作りす
- ◆ 朝市に独活や新たな香を放つ
- ◆ 行く雁の小さくなりて暮れにけり
- ◆ 朝雲父の忌近き芽独活つむ
- ◆ 独活洗う沢水清く柚豆餉
- ◆ 行きはが足袋の真白く下萌ゆる
- ◆ 鈴木 徳蔵(舟木)
- ◆ 阿部 ナミ(藏)
- ◆ 小笠原亮子(藏新田)
- ◆ 小野 貞子(同)
- ◆ 小松 メサ(下小路)
- ◆ 佐藤 貞子(藏)
- ◆ 小松 徳蔵(湯出野)
- ◆ 阿部 澄子(藏)
- ◆ 小松順之助(中通)
- ◆ 遠藤トミ子(小倉)
- ◆ 佐藤 澄子(藏)
- ◆ 高橋ヒデ子(横渡)
- ◆ 菊地 常作(同)
- ◆ 鈴木 要(沼)

ハイスクール 日記

東由利町での 全県軟式野球大会に向けて



下郷分校3年
野球部主将
遠藤英樹君

わが下郷分校野球部は、今猛烈に燃えている。なぜかと言えば、三分校野球大会はもちろんだが、この東由利町の勤労者野球場で全県の高校軟式野球春季大会が開催されるからである。

全県九チームの熱闘が六月二日から四日間繰り広げられる。

六月の青空のもと、初夏のすみきつた東由利町の中に快音と声援がこだまするだろう。

わたしのゆめは、マラソンのせん手になることです。その理由は、わたしは走るのが好きな

杉野さおりさん



佐藤 力くん

ぼくは、大人になつたら科学者になりたいです。科学者になりロケットをつくつて地球を何

周もしたいです。そして宇宙のはてまで飛んでいきたいです。宇宙のはてがどんなふうなのかたんけんしてみたいと思いま

す。そして、いろいろなものを発明したり作ったりしたいです。

ぼくの夢わたしの夢

(高瀬小四年生)

ので、マラソンのせん手になりたいです。そのために今からきたえておきたいです。

お父さんは足が速いので、速く走れるコツを教えてもらつてがんばりたいです。それでもつともつと、足をきたえて、速く

なりたいです。なれないかもしないけど、今からきたえて、オリンピックに出たいなあと思います。

まず今年の黄桜マラソンでなるべく良い成績になれたらいいです。

老人クラブの会長を12年間務めさせていただいておりますが、人の先になつて物事を進めることは、つくづく大変な事だと感じております。約60人の会員と共に、神社の掃除をしたり、花壇を作つたり、ゲートボールをしたり楽しく過ごしています。

私の場合は、50年前に何も分からず婿養子に来て、あたたかく見守つてくれたこの町の人達に大変感謝しております。その恩返しが出来ればと思って活動しています。

愛育班は、話合いに始まり話し合いに終わるといわれるようになります。

このような活動を通して私がいつも思つてゐることは、「先になつて引っ張つて行ける人の育成」という事です。老人クラブだけでなく、若い世代の人達にも言えると思ひますし、人づくり対策について行政側で真剣に取組み、指導していただきたいと思います。町を良くしたいと思う心は、年代に関係なくみんなが思つてゐることなので、役場職員の奮起に期待します。

作つて作つて作りまくり、発明王になりたいです。どんなものを発明するかというと、世界一、宇宙ースピードの出る車とか、たくさんの人と手を組んで、何かでつかいものを発明したいで



館合第一寿会
小松 徳藏さん(71)

ことぶき大学だより

保健婦のヘルシートーク

今年は愛育班員の任期交替の年にあたり、各地区で引継ぎ会

や班員総会が繰広げられています。総会では新年度の活動目標

や活動計画を審議する一方、これまで歩んできた町の愛育班の

歩みを振り返つたり、自分たちの班の組織と役割を確認し合つたりします。日々に「何もわからないので」と言いつつも新班員の方たちからは地区の代表としての責任感が感じられます。

老人クラブの会長を12年間務めさせていただいておりますが、人の先になつて物事を進めることは、つくづく大変な事だと感じております。約60人の会員と共に、神社の掃除をしたり、花壇を作つたり、ゲートボールをしたり楽しく過ごしています。

私の場合は、50年前に何も分からず婿養子に来て、あたたかく見守つてくれたこの町の人達に大変感謝しております。その恩返しが出来ればと思って活動しています。

愛育班は、話合いに始まり話し合いに終わるといわれるようになります。

このような活動を通して私がいつも思つてゐることは、「先になつて引っ張つて行ける人の育成」という事です。老人クラブだけでなく、若い世代の人達にも言えると思ひますし、人づくり対策について行政側で真剣に取組み、指導していただきたいと思います。町を良くしたいと思う心は、年代に関係なくみんなが思つてゐることなので、役場職員の奮起に期待します。

愛育班活動は決して目立つ活動ではありませんが、現代社会でともすれば失いがちな人と人との触れ合いや、思いやりの心を呼びもどしてくれるホットな存在なのです。

(保健婦・小松友子)

5月 (3/1~3/31)
町のミニ統計

- 人口 () は前月比
 - 男 2,783人 (△12)
 - 女 2,923人 (△26)
 - 計 5,706人 (△38)
- 世帯数 1,410戸 (△7)

() は1月からの累計

- 出生5人(12) • 死亡6人(16)
- 転入15人(26) • 転出52人(69)

- 火災出動……0件 (1)
- 救急出動……8件 (25)
- 交通事故……0件 (1)
 - 死者……0人 (0)
 - 傷者……0人 (1)
- 飲酒運転……0人 (0)
- 酒気帯び……0人 (1)

5町民カレンダー

春の行政相談週間

5月10日～5月16日

- 3～10・八塩いこいの森桜花会
- 9～10・黄桜まつり
- 13・ことぶき大学開講式 (10時～朋楽荘)
- 14・ふれあいの森植樹
(9時～八塩いこいの森)
- 31・町民登山

9日と23日の土曜日は役場が休みです。

どうせやるからには、前担当者に負けないような良い広報にしたいと思いますし、一人でも多くの方に登場していただきたいと考えています。

町内のホットな話題、ご意見、ご要望、何でも結構です。たくさんのお便りお待ちしています。

ダルマソウ、ベゴノシタなどともいわれる多年草で、湿地や水辺に多く見られます。場所によっては群落をつくって生えることがあります。四月の末ごろ、雪解けを待つて暗紫色の苞を地面に出し、その中に黄色に光る花を抱くよう

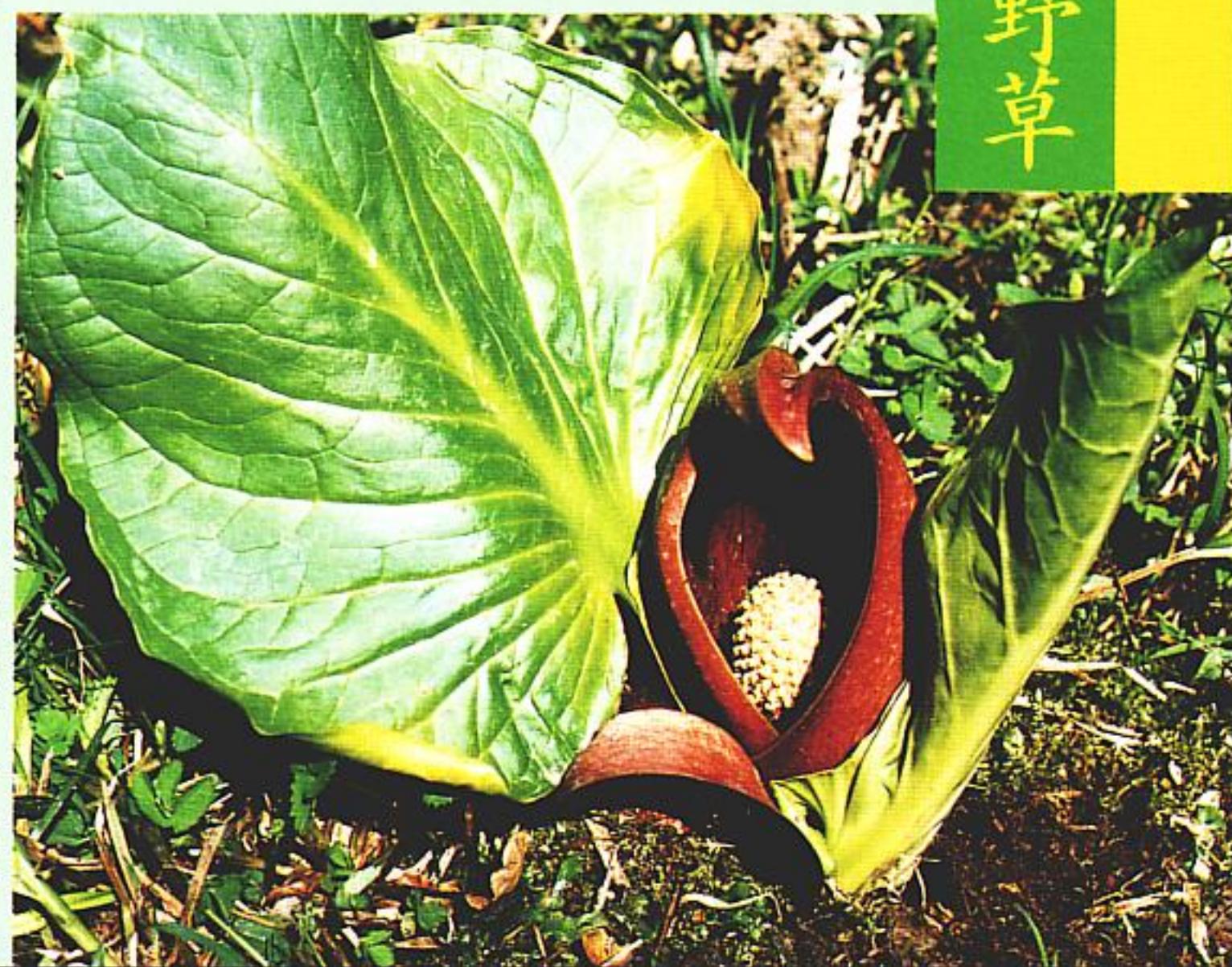
につきます。葉は苞がしほむ頃のび出し、葉柄の二倍ぐらいの長く広い葉になります。和名はダルマさんが座禅するように見えることからつけられたもので、ベゴノシタは葉の形状からいわれます。

87

ザゼンソウ

(サトイモ科)

文・写真 小松忠正



お誕生おめでとう

畠山 麻美ちゃん (3歳)
留美 恵利子 (2歳)
大吹川 勉 (2歳)

小松 祐樹ちゃん (6歳)
清和 長男 (4歳)
畠村 煙 (2歳)

ごめい福をお祈りいたします

加藤 幸男さん (63・チエ・夫)
板戸 加藤 キミヨさん (99・宮崎信一・おば) 蔵

佐々木七之助さん (85・ミン・夫)
新町 加藤 キミヨさん (83・秀勝・祖母)
湯出野

今後も積極的に参加し、町の話題をPRしたいと考えていますので、話題などがありましたらお知らせ下さい。

オ爱好者のみなさんチャレンジしてみてはいかがですか。

内容については検討中ですが、春らしいさわやかな話題を県内各地に放送する予定です。

このほかにも毎週金曜日には「ビデオ便り」のコーナーもあります。約1分間放送されます。ビデオ爱好者のみなさんチャレンジしてみてはいかがですか。

今後も積極的に参加し、町の話題をPRしたいと考えていますので、話題などがありましたらお知らせ下さい。

人事異動の内示を見たある人から「これじゃあ死んだようなもんだね」と言われ、何でも良い方に解釈する私は、「死んだ氣で頑張れ」と言っているのだろうと勝手に解釈し、頑張って作った第1号。

とにかくみなさん、読んでみて下さい。

ほっと
ひととき



(3/21～4/20届出・敬称略)

NHKふるさとネットワーク

毎週火曜日から木曜日の6時45分頃からNHKで放送されているのが「NHKふるさとネットワーク」。県内各市町村の話題が紹介されるコーナーですが、

佐々木真一さん (新町) からそれぞれ金一封のご芳志が届けられました。

ありがとうございました。

戸籍の窓口

5月12日に登場

伝言板

まごころ

町社会福祉協議会に、石渡力造さん (藏新田) 、小松栄太郎さん (下通) 、小松大さん (八日町) 、佐々木真一さん (新町) からそれぞれ金一封のご芳志が届けられました。